

医療ニーズが高く  
ADLの障害も重度

2022年12月15日(木)

13:00~16:30

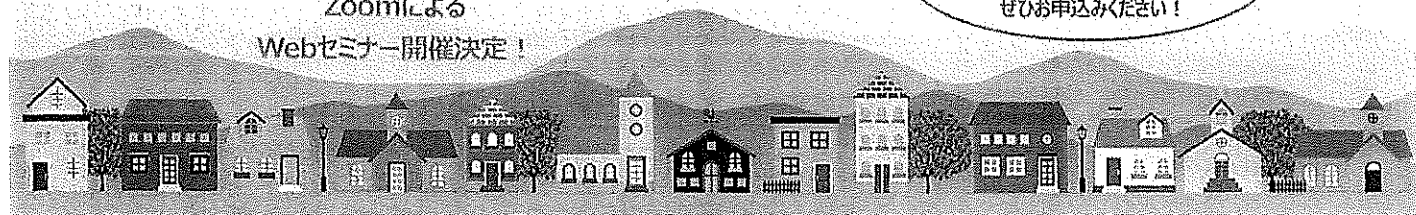
★事前申込制・参加費無料

「災害対策基本法」改正のいま  
難病児・者の

災害対策をすすめる!

ライブ視聴はムリかもという方も  
オンデマンド配信を予定しています!  
ぜひお申込みください!

Zoomによる  
Webセミナー開催決定!



【対象】 都道府県・保健所設置市・特別区等保健師のみなさま  
難病診療連携拠点病院、難病相談支援センター等職員のみなさま  
基礎自治体災害時個別避難計画所管部署・防災危機管理部門等のみなさま

【申込方法】 厚生労働省「難病患者の支援体制に関する研究班」ホームページよりお申し込みください  
<https://plaza.umin.ac.jp/nanbyo-kenkyu/> ◆ 申込受付 11月21日(月)~12月20日(火)

●概要●

人工呼吸器装着等在宅難病患者のみなさん(以下、難病者)は、「医療機器使用のための電源が継続的に必要であること」、また日常生活活動に重度の障害があり、災害時には、様々な対応・支援、配慮が必要となります。これまで難病者の「災害時の備え」は、医療機関・訪問看護ステーション等における在宅療養管理の一環として、あるいは各自自治体の難病保健における、個別・地域の支援の体制整備のとりくみとして実施されてきました。

2021年5月に災害対策基本法が改正され、「災害時個別避難計画」の作成が基礎自治体の努力義務とされ、これを契機に難病者の「災害時の備え」が、この施策の流れと連動して、大きくすすむことが期待されます。

本セミナーのねらいは、従来からの、難病者に対する「保健・医療における療養支援」、そして「現在の基礎自治体における施策への取組」を知り合うことで、「基礎自治体におけるあらたな施策」を効果的に推進し、難病者の「災害の備え」をすすめることです。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

<プログラム(内容を変更する場合があります)> 途中休憩あり

13:00	開会	
ご挨拶	小森哲夫(研究代表者/国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター) ご担当(厚生労働省 難病対策課)	
基調講演	■避難行動要支援者への災害時対策の推進 -内閣府「個別避難計画作成モデル事業」における医療ニーズが高い方への取組-	内閣府ご担当
ミニ レクチャー	■医療機器の非常用電源使用に際しての注意点と日常管理	阿部聖司(国立病院機構西別府病院 臨床工学技士)
取組み リレートーク	■「日々の生活」と災害時に困ること、備えていること -災害時個別支援計画の作成と避難訓練をとおしてわかったこと・感じていること- ■医療的ケア児・者の災害時個別支援計画作成のとりくみ -計画作成と避難訓練の実施をとおしてみたこと- 【指定発言】災害時個別支援計画作成と避難訓練 -訪問看護で実施したこと・その後実施していること-	佐藤真弓(東京都重症心身障害児(者)を守る会) 片峯朋子(小平市健康福祉部障がい者支援課) 吉澤奈津美(訪問看護ステーションくれよん)
	■平常時の難病療養支援と災害対策に関する保健師活動 -令和元年東日本台風災害時の経験と個別支援計画・支援体制づくり- ■令和元年東日本台風災害時の経験と平時の備え -要支援者への対応と訪問看護ステーションにおけるBCP-	北村美帆(長野市保健所) 山岸美枝子(訪問看護ステーションしののけ 長野県看護連絡協議会北信地区ブロック)
	■滋賀県難病医療連携協議会における難病医療コーディネーターの活動と災害時対策への取組み ■人工呼吸器装着等療養者の在宅医療 -災害時緊急時を想定した平時のリスク管理・対策の現状と課題-	小池ゆかり(滋賀医科大学医学部附属病院) 古屋聡(山梨市立牧丘病院)
研究班 資料等紹介	■難病患者災害対策資料(研究班作成)の紹介	溝口功一(研究班災害対策統括/前静岡医療センター副院長)
総合討論・まとめ		
16:30	閉会	

# 講師紹介・講演概要

## 基調講演

### 内閣府ご担当（政策統括官(防災担当)付参事官(避難生活担当)）

令和3年の制度改正における「個別避難計画作成」及び「福祉避難所」に関する事項の解説と、「個別避難計画作成モデル事業」における医療依存度の高い方々を対象とするモデル事業の取り組み経過等をご紹介します。

## ミニレクチャー

### 阿部聖司氏（国立病院機構西別府病院 臨床工学技士）

医療機器の電源と、非常用電源の利用における遵守事項・留意点についてお話いただきます。

## 取組み リレートーク

### 佐藤真弓氏（東京都重症心身障害児(者)を守る会）

佐藤様は、昨年度、ご子息の災害時個別支援計画を作成し、避難訓練を行いました。本講演では、ご子息が平時に必要なケア・支援と、診療・看護、介護等のこと、日々の生活で大切にしていること、そしてこのたびの避難訓練の実施をつうじて「わかったこと、今感じていること」についてお話いただきます。

### 片峯朋子氏（小平市健康福祉部障がい者支援課）

当事者への平時の支援・保健所保健師との連携、また災害時個別支援計画作成についての市での取り組みや流れ、計画作成における関係機関・部署との連携、市としての避難訓練実施の背景や訓練の実施でわかったことなどをお話いただきます。

### 吉澤奈津美氏（訪問看護ステーションくれよん）

「市の障害の担当課あるいは保健所との平時の連携」と「定期的訪問看護」について、そして災害時個別支援計画の作成と避難訓練の実施において、訪問看護が実施したこと、実施をつうじてわかったこと、その後の看護についてお話いただきます。

### 北村美帆氏（長野市保健所）

長野市の取り組みとして、個別支援計画の作成や見直し、療養状況の確認などの平時の個別支援について、そして令和元年東日本台風災害時の経験について事例を踏まえてお話いただきます。

### 山岸美枝子氏（訪問看護ステーションしののけ 長野県看護連絡協議会北信地区ブロック）

令和元年東日本台風災害時に、訪問看護事業所が在宅患者に実施したことや、訪問看護事業所が経験したことを伺います。そして平時における災害時の備えについて、訪問看護時のとり組み、支援関係機関・者との連携、事業所の体制整備等についてお話いただきます。

### 小池ゆかり氏（滋賀医科大学医学部附属病院）

難病医療コーディネーターとしての、災害時を想定した療養支援や難病医療福祉従事者への研修、ならびに、県と協働する災害時対策の取り組みについてお話いただきます。

### 古屋聡氏（山梨市立牧丘病院）

人工呼吸器装着等難病患者を含め、平時における在宅療養管理の実際と災害を想定した対策の現状や課題について、訪問診療をされているお立場からお話いただきます。

## 研究班 資料等紹介

### 溝口功一（研究班災害対策統括／前静岡医療センター副院長）